

湖頭

学校便り 学校評価アンケート集計結果版
令和5年2月 富士市立須津小学校

令和4年度後期学校評価アンケート

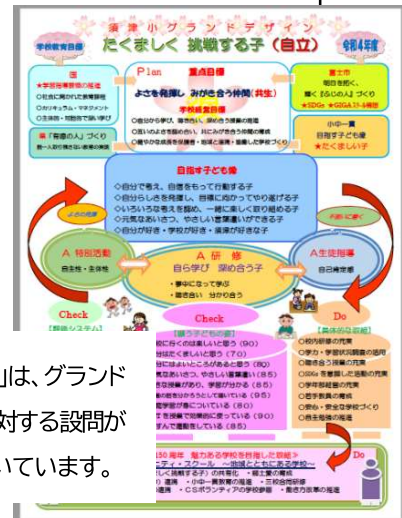
12月にご協力いただいた「後期学校評価アンケート」の集計について、ご報告いたします。

須津小学校 グランドデザインより

本校の目標【願う子どもの姿】()内は、令和4年後期の結果:令和4年前期の結果:グランドデザインの目標数値です。(グランドデザインは、学校ホームページに掲載されております。)

また、以下の数値は「そう思う」「どちらかというと思う」の割合の合計値です。

- ①学校へ行くのが楽しいと思う。(87.8%:88%:90%)
- ①'自分はいくまいと思ふ=失敗を怖れず挑戦している。(72.3%:74%:70%)
- ②自分にはよいところがあると思ふ。(76.7%:78%:80%)
- ③元気なあいさつ、③'やさしい言葉遣いができている。(85.4%:86%:85%←平均)
- ④好きな授業があり、学習が分かる。(90.45%:93%:85%←平均)
- ④'友達の話を分かろうとして聴いている。(92.9%:95%:95%)
- ⑤家庭学習が身に付いている。(89.7%:89%:80%)
- ⑤'ICTを授業で効果的に使っている。(73.8%:72%:90%)
- ⑥すすんで運動している。(74.3%:76%:85%)



※数字に付いた「'」は、グランドデザインの項目に対する設問が複数あるため、付いています。

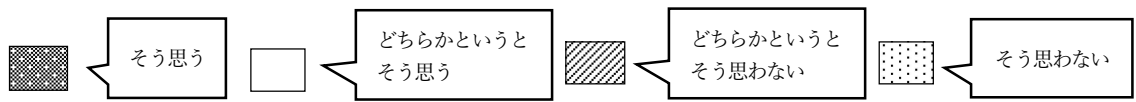
【結果と考察】

①後期は「学校へ行くのが楽しいと思う」の設問に児童の 87.8%が「そう思う」「どちらかというと思う」と回答しました。

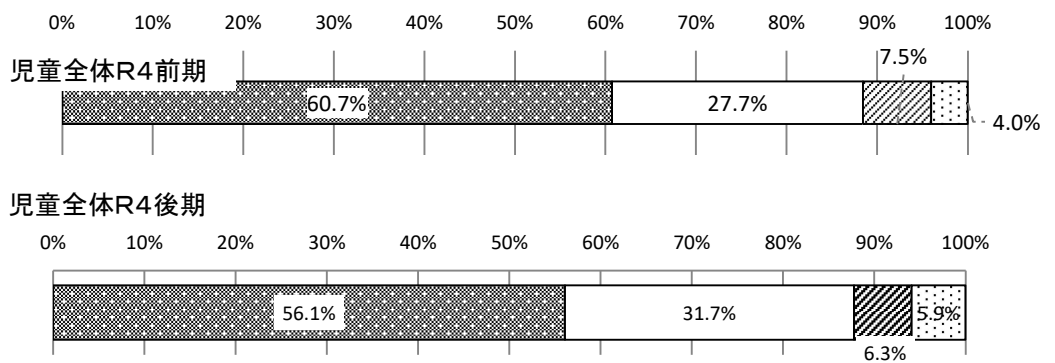
令和4年度前期の調査結果 88.4%と同じくらいの割合となりました。

一人一人が活躍する場や分かる授業が展開される楽しい学校を目指して取り組んでいます。

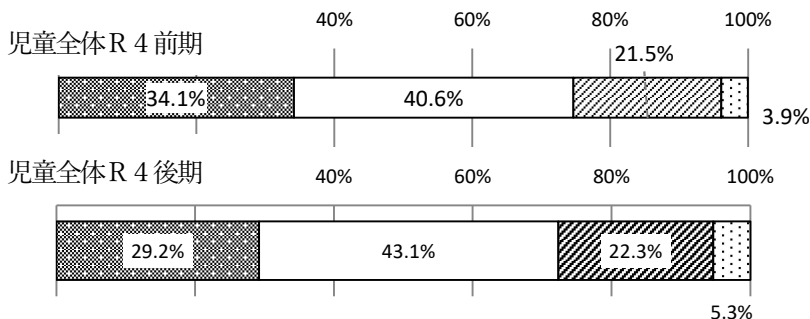
学校へ行くのが楽しいと思っている子の割合は目標90%に届いておりません。来年度に向けて、より一層、一人一人が活躍できる場を増やしたり、授業の充実を図ったりしながら、地域の人材、教材、須津地区の美しさや素晴らしさを肌で感じられるような「本物に触れる」機会を多くしていき、学校で友達と学ぶ楽しさを感じられるようにしたいと考えています。



① 学校へ行くのが楽しいと思う。



①' 失敗を怖れず挑戦している。

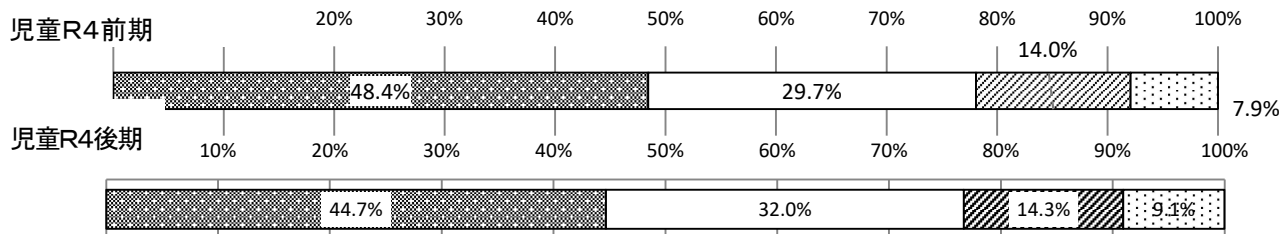


また、失敗を怖れず挑戦していると回答した児童の割合がグランドデザインの目標70%を超え、72.3%でした。前期とほぼ変わらない結果となりましたが、「挑戦していると思う」と回答している児童の割合が減少していることが気になります。児童が考え、試行錯誤しながら答えを生み出して

いく活動、「やってみよう。」「やってみ
たい。」と思える授業展開を実践します。

②「自分にはよいところがあると思う」の設問では76.7%の児童が「そう思う」「どちらかというと思う」と回答しました。後期も学級での「いいところ見つけ」や作品鑑賞での認め合い、グループエンカウターの活用を続けました。見つけた良さを掲示物にしたり、学級・学年便りに子どもたちの言葉やノートを載せたりと様々な手立てを講じてきましたが、どれも比較的、教師主体の取組でした。来年度は子どもたちが考えた方法で、自分の良さをアピールしたり、表現したりする場を、校内や各教室に広げていきたいと考えております。

② 自分にはよいところがあると思う



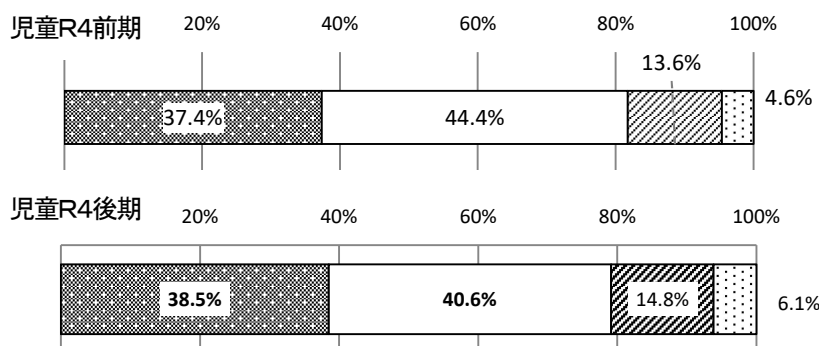
③やさしい言葉遣いが「できている」と回答する児童が、わずかですが増えています。

一方で、いまだにやさしい言葉遣いが「できていない」と回答する児童がおり、ほんの少し増えてもいます。気持ちの余裕がないこと、自己肯定感が低いことなどが要因として考えられます。

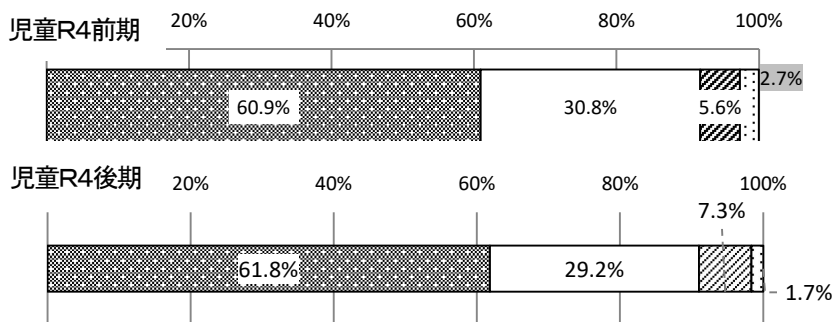
②の「自分にはよいところがあると思う」とつながりがあると考えられるので、お互いの良いところの見つけ合い、認め合い、励まし合うことに加え、学級活動などでのソーシャルスキルのトレーニングを通して、豊かな人間関係作りができるよう育てていきたいと考えます。

また、挨拶を「している」と回答する児童が増え、児童会の挨拶運動や校内での呼びかけが効果をあげていることが分かります。しかし、「できていない」と回答する児童もいます。できていない理由を分析すると、③と同じように自己肯定感の低さと関係性があることが分かりました。自分を好きになり、友達のことも好きになれることが、やさしい言葉遣いや明るい挨拶につながっていきます。挨拶を広める活動を継続するとともに、③同様に自己肯定感を高める取組に力を入れます。

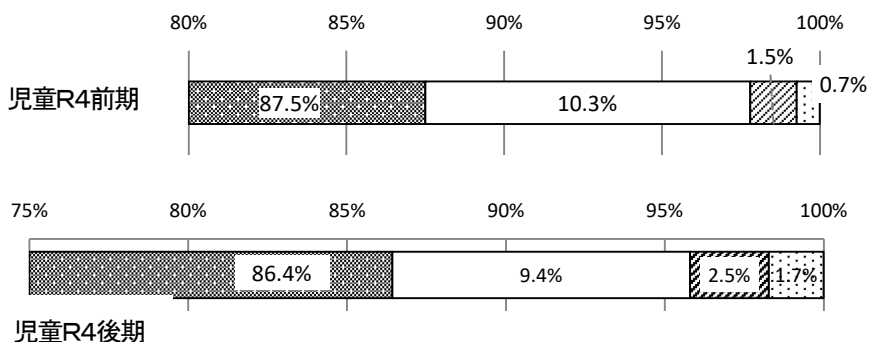
③ やさしい言葉遣いができている。



③ あいさつをしている。



④ 好きな授業がある。



④後期も引き続き、学校生活の大半を占める授業を、楽しく分かりやすいものにする方法を話題にしている学級があります。ICT機器の活用方法も定着し、1、2年生にも一人一台のタブレットパソコンが行き渡りました。しかし、こうした取組が好きな教科ができることや楽しい授業ができることに反映されたかどうか、成果が出るまで少し時間が必要なようです。より効果的にタブレットパソコンを使ったり、授業の中へ、グループワークや対話を徐々に取り入れたりすることによって、授業を楽しみにする児童や好きな授業を楽しみに学校へ来る児童が増えることを願い、様々な手立てや活動例を参考にし、実践していきます。

より効果的にタブレットパソコンを使ったり、授業の中へ、グループワークや対話を徐々に取り入れたりすることによって、授業を楽しみにする児童や好きな授業を楽しみに学校へ来る児童が増えることを願い、様々な手立てや活動例を参考にし、実践していきます。

「勉強したことが分かっている」と回答した児童が85%にのぼり、本校グランドデザインの目標と同値という結果になりました。分かるということは、学びそのものであり、学んで分かることは、楽しいことです。

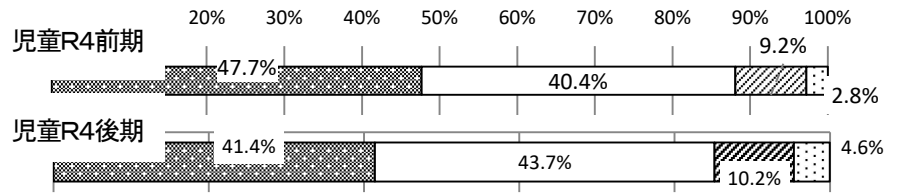
分かることの喜びや学びから新たな疑問が生まれたとき、そこに感動が生まれます。

それぞれが考えていることを分かち合う中で生まれる「ズレ」は、問いが生まれる瞬間を意味します。そんな時間がもてるよう、より多くの対話ができたり、思いを交わし合えたりできるよう、授業作りをすすめます。

具体的には探究型授業をこれまで以上に意識し、児童自らが自分ごととして解決に向かうことのできるような環境を整え、タブレットなどの教具・地域教材の活用することを、手立てと考えています。

また、友達の話をつらやうとして聴いていると回答した児童は90%を超えてはいるものの、前期と比べわずかに数値が下がっていることが気になります。聴くことは、学びの柱です。聴く力を付けるため、普段の授業で「聴く場面」を意図的に設定したり、児童の発達段階に応じた「あたたかい聴き方」の指導をより充実させたりします。(資料1：各教室に学年に応じて掲示し、様々な場面で意識できるようにしています。)

④ 勉強したことが分かっている。

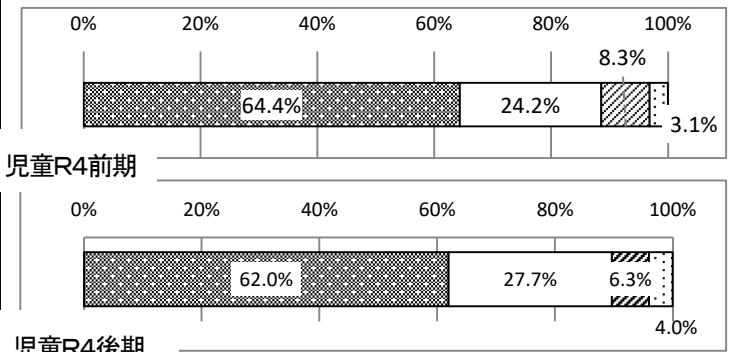


(資料1)

学年	あたたかな聴き方	やさしい話し方	留意点
低	<ul style="list-style-type: none"> 話し手に身体を向けて、聴く。 →目・耳・心で聴く 最後まで集中して聴く。 反応しながら(聴いているサインを出しながら)聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞いている人が聞きやすい話し方をする。 →相手に聞こえる声の大きさ、主述を整える、短く切って話す。 順序に気を付けて話す。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達を大切にすること 聴く心 聴き方・話し方の基礎を学ぶ 話題に沿って話し合うことを大切に
中	<ul style="list-style-type: none"> 話の大事な部分を落とさないように聴く。 →自分の意見と比較、要点を押さえる 自分の考えに基づいた反応をしたり、質問や感想が言ったりできるように聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞いている人が内容を理解しやすい話し方をする。 →友達との比較、付け足し 筋道を立てて話す。 →「結論→理由、根拠を示す」という話し方 	<ul style="list-style-type: none"> 進行に沿って話し合うことを大切に 共通点や相違点を考えながら聴く・話す
高	<ul style="list-style-type: none"> 話し手の意図をとらえながら聴く。 自分の意見と比較しながら、考えをまとめたり、深めたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の伝えたいことが聞いている人に明確に伝わるように、話の構成を工夫しながら話す。 →立場や意図、根拠をはっきりさせて話す。 →論理を考えて話す。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に話し合いを進めていくことを大切に 自分の意見と友達の意見と比較しながら、全体に広めたり、投げ掛けたりする。

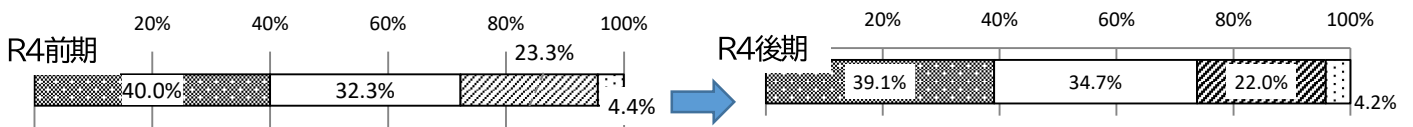
⑤ 家庭学習が身につけていると回答した児童は全体の89%でした。目標の80%を上回り、家庭学習が定着しつつあることがわかります。

⑤ 家庭学習の習慣が身に付いている。

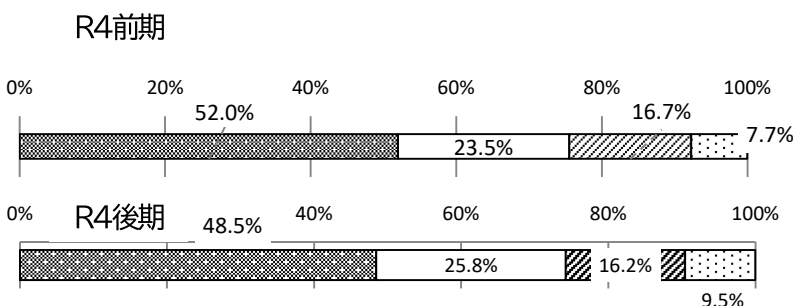


自主的自発的な学習も広がっていることが、わかります。かなり多くの教室で、タブレットパソコンやプロジェクター、実物投影機等、学習ツールを使い、学習しています。わずかですが、ICT機器を授業でつかっていると回答した児童が増えており、ICT機器が子どもたちの学びの手助けになっていることがわかります。

⑤ ICT機器を授業で効果的に使っている。



⑥ すすんで運動をしている。



⑥ すすんで運動をしていると回答した児童の割合は微減となりました。コロナ禍でもできる運動を各学級・各学年で工夫して体育科の授業内で取り組んでいます。

一方で子どもたちからすると、制限や寒くなってきたこの時期(12月)になると「すすんで」運動をする機会が減ってきていると判断し、選択したのかもしれませんが。

休み時間の状況を見る限り、すすんで外遊びに興じる児童が多くいます。児童が体を動かす場面を、今後も多く取り入れていきます。

学校評価アンケート自由記述 回答

後期学校評価自由記述へのご意見ありがとうございました。すべてではありませんが、お答えできるものを挙げ、以下に記載いたします。これからの学校教育、来年度の教育活動に生かします。

1. 【挨拶に力を入れてほしい】

- ・登下校時に挨拶してくれる子がたくさんいるが、高学年になる挨拶をしても、返答しない子もいるのが残念。
- ・学校では挨拶をすると聞くが、地域や家庭でも挨拶してほしい。

挨拶の習慣は一朝一夕には付きません。挨拶ができなかったとしても決して叱責したり、無理強いをしたりしないで、(今度はできるようにしたいね)とやさしく声をかけていきたいと考えています。挨拶が、しなければならない嫌なものではなく、挨拶は「元気ですか」という気持ちを込めて相手を思うこと、あなたのことを気にかけていますよという気持ちを伝えること、元気を分けてあげることを意味していると伝え、なぜ挨拶が大切なのかを子どもたちに教えています。私たち教職員も、子どもたちへ笑顔で明るい挨拶をしていきます。



2. 【授業参観について】

- ・来年度も参観日の開催をお願いします。土曜日参観についても検討してほしい。

コロナ禍で行う授業参観のため、回数が減り、今年度は延期や分散での参観など、保護者やご家族の皆様にご不便をおかけいたしました。来年度は、運動会や個人面談・懇談会などを含め、ご来校いただく行事を、コロナ前のような状態に近づけていきたいと考えております。土曜日参観も、運動会などの学校行事を含めて検討しております。

3. 【ホームページの写真掲載】

- ・参観や学校への来校の機会が少ない中、ホームページに活動の様子を写真で載せてもらえると学校の様子が分かって、嬉しい。

今年度、学校のホームページへの外部からの攻撃を防ぎ、安全に情報を扱うことができるように、市内全体のシステムを変更しました。この対応により、学校がホームページを簡単に更新することができなくなり、これまでのような頻度で情報を発信することが難しくなってしまいました。

ホームページの更新を楽しみにして下さっていた保護者の皆様、地域の皆様には、大変ご不便、ご迷惑をおかけしますが、安心・安全に情報を発信するための対応ですので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

令和5年度中を目安に新しいホームページへ移行する予定です。写真掲載については、移行後検討いたします。

4. 【PTA活動の簡素化・スリム化】

- ・生活スタイルの変化により、家庭で家族と過ごす時間を大切にしたい。多くの人が幸せに暮らせるようPTA活動の在り方、今後の姿など建設的な考え・議論を交わしていただきたい。
- ・活動の簡素化、部員数の縮減をお願いしたい。

令和元年度のPTA役員会で活動の見直しが行われました。大幅に活動が精選され、専門部長や専門部員の方々の活動がスリム化されました。加えてここ数年、コロナ禍での活動の見直しによってかなりの活動が縮減され、それに伴って専門部員の数も減っております。

PTA活動は、子どもたちの幸せにつながるとも大切な活動であると考えます。PTA会員の皆様、PTA本部役員の皆様とともに、活動に関わる皆様の負担感を払拭し、やってよかったと思えるような活動作りに尽力いたします。

【そのほかご意見いただいたもの】

- ・オンライン行事風景の配信、マチコミの配信時刻の工夫・マチコミでのお便り送信、雨の日の送迎について 等